

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況（H25年度末現在）	進捗状況（H26年度末現在）	進捗状況（H27年度末現在）	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完結分
H25	1	水引	通学路に関わる危険道（県道京泊大小路線）の歩道の設置、側溝の補修、整備について	建設政策課	歩道の設置については、どうしても用地の相談も必要になってくるかと思う。これについては、別途の形で県へ要望している。できるだけきれいな形で4月2日の就航の日を迎えたいことを県へ要望したい。	側溝を含む歩道の整備については、県に要請している。側溝の浚深、路肩の土砂撤去については就航日前に撤去していただいたところである。	平成25年度末回答と同じ	平成25年度末回答と同じ					
H25	2	湯田	市道 前田線について	建設整備課	三田・前田線については、土地の権利調査も実施した。相続が50名を超えるような土地があったり、整備に制約があり、これまで手をつけられなかった。再度、現地を回り、山手側に土側溝等があったので、そちらの方の擁壁を整備したり、側溝を整備したりすることで、既に現地には工事が入っている。また、路面も非常に悪い部分があるので、4月になったら舗装工事の計画もしている。抜本的な拡幅改修はできないが、維持的な補修・整備で少しでも解消したい。2～3日中には第1段階の工事が終了することで、御確認をお願いしたい。	平成25年度において、舗装工事で完了した。							○
H25	2	湯田	市道 前田線について	建設維持課	三田・前田線については、土地の権利調査も実施した。相続が50名を超えるような土地があったり、整備に制約があり、これまで手をつけられなかった。再度、現地を回り、山手側に土側溝等があったので、そちらの方の擁壁を整備したり、側溝を整備したりすることで、既に現地には工事が入っている。また、路面も非常に悪い部分があるので、4月になったら舗装工事の計画もしている。抜本的な拡幅改修はできないが、維持的な補修・整備で少しでも解消したい。2～3日中には第1段階の工事が終了することで、御確認をお願いしたい。	平成25年度において、舗装工事で完了した。							○
H25	3	西方	移動販売の導入について	商工政策課	お出かけ支援券、デマンド交通の説明。「買物不便地域支援モデル事業」の説明。	買物不便地域支援モデル事業とは、地域内や近隣に商店などがなく、日常の買い物に支障をきたしている自治会を対象とした、移動販売をおこなう事業である。生活協同組合コープかごしまが販売事業者となり、基本週1回の移動販売をおこなっており、現在28自治会で実施している。申し込みは自治会単位で、随時申し込みを受け付けており、現在実施地区の拡大（川内地域限定）を図るために、地区説明会を実施している。西方地区においても、申し込み検討中の自治会があり、今後実施場所や時間等の調整をおこなう予定である。	実施地区の拡大のために、商工会高城支所管内の湯田地区、西方地区、高城地区、城上地区、吉川地区、陽成地区において、事業内容の説明会を実施したところ、新規に19自治会の加入をいただき、現在12地区コミ、47自治会で販売をおこなっている。当面、実施状況等をおこないたい。	昨年度実施地域を拡大し、商工会高城支所管内において、移動販売を実施しているが、利用客も多い状況であり、順調である。一部、販売場所や販売時間等についての要望もあるため、対象自治会と調整し、利用促進を図って行く。					
H25	その他	水引	唐浜港公園の砂飛散	林務水産課	今後検討したい。	砂の堆積状況を見ながら定期的に公園内の除砂を実施している。				○			○
H25	その他	水引	日向迫疎水水路整備について	耕地課	おれんじ鉄道の横に土水路があるが、青線が通っていない。溝の部分が鉄道側の敷地にある関係上、通信ケーブルが入っているため、機械で掘ることを鉄道事業者側からさせてもらえず、手掘りをしなければならぬ。今度、おれんじ鉄道にも出向き、何か方策がないか、また、国道事務所にも出向き、国道にバイパスみたいなものを入れてもらえないか話をしていきたい。	おれんじ鉄道沿いの水路整備について、おれんじ鉄道敷地を買収して整備をオレンジ鉄道と協議をしたが不調となった。当面、維持管理をしながら様子を見たい。	おれんじ鉄道の敷地で目付通信ケーブルが埋設しており、整備は困難である。引き続き維持管理で対応したい。						○
H25	その他	水引	県河川の寄洲について	建設政策課	県の河川であるので県にお願いしてきた。県からは、逆に市も一緒に考えて対策をするということになった。河川愛護として、県は機械・費用を出し、市は揚げた水草を運搬・処分する等のため、水草対策の検討委員会を立ち上げた。県北陸振興局の建設部・農政部、市の建設部・農林水産部、もう少し話を詰めてから地元にも入っていただき、そのような形をとっていききたい。県も重機を入れるところまで、動き出したので、もう少し待っていただければ具体的な方策を地元の方にお示しできる。	水草対策については検討会を行っている。現時点では各団体ができるところを行っているところである。（県による浚深。耕地課による排水機場付近の浚深。）寄洲の除去については、河川の状況を見ながら必要があれば要請していきたい。	平成26年度は漁協関係者や市の林務水産課及び耕地課の関係者で水草の除去を行った。また、繁茂状況も継続的に確認している。平成27年度当初には原田川の寄洲除去も行ってあり、今後も状況を見ながら要請していきたい。	平成26年度は漁業関係者等で水草の除去を実施した。平成27年度は林務水産課で、水草の状況を経過観察している。平成27年度に原田川の寄洲除去を県が実施しており、今後も状況を見ながら要請していきたい。					○
H25	その他	水引	草道川について、旧県道で、浜田公民館から踏切を越えて、江ノ口に行くところの境までの間の道路が非常に低い。	建設政策課	改修が一部できていない、急に下がっている部分であると思う。昨年も県の担当の方と一緒に行ってもらい、検討をお願いした。再度確認したい。	草道川の堤防について、護岸は完成しているがそれより上の築堤が未完成である。築堤した場合、内水の排除方法を検討する必要があるため、県・市で協議し、検討していきたい。	平成25年度末回答と同じ	平成25年度末回答と同じ					

開催年度	議題	地区	議題内容	所管課	回答概要	進捗状況 (H25年度末現在)	進捗状況 (H26年度末現在)	進捗状況 (H27年度末現在)	地区振興計画	H26当初予算	H27当初予算	H28当初予算	事業完結分	
H27	1	水引	水引地区の公民館組織を自治組織として位置づけることについて	コミュニティ課	本市の自治組織の体系としては、自治会と地区コミュニティ協議会の大きく2つがある。平成16年に市町村合併を契機として、名称を「自治会」に統一し、本市独自の組織である「地区コミュニティ協議会」の2つを位置づけている。また、平成20年に、議会の議決を得て、自治基本条例を制定している。この中でも改めて自治組織の体系について、「地区コミュニティ協議会」と「自治会」を明確に条例の中に定めた。 全市的に統一した対応が必要となることから、「公民館組織を自治会と同様にする」ということについては、難しいということを御理解していただきたい。地区の発展のため、より良い体制づくりについて、公民館、関係する自治会、地区コミュニティ協議会と更に協議を重ねていただければと考える。 その中で、市として対応できる部分があれば、検討を加えたいと考えている。決して、公民館を認めないということではない。大事な組織として承知しているので、御理解をお願いしたい。			回答と同様						
H27	2	湯田	活気あるまちづくり	観光・シティセールス課	市としても、これまで協議会の設立や定例会や各種研修会に出席をさせていただいている。これまでも連携・協力をとってきているが、今後も連携を深めてまいりたい。 平成28年4月からはよか湯協議会を受け入れ団体として、地域おこし協力隊員の配置を考えている。新規事業として、頑張る地域商店街支援事業として、新たな補助制度を創設する。「旅」、「食」、「品」の商品開発を通して、温泉街の活性化に取り組んでまいりたい。更に、JR九州のクルーズライン「なつ里九州」の薩摩高城駅の停車については、市としても湯田地区コミュニティ協議会や湯田口20日会等と実行委員会をつくっている。海岸の清掃活動や花壇の整備、横断幕・のぼり旗・手旗による歓迎・見送りや特産品の販売、川内高城温泉をはじめとする観光パンフレットの配布等、地元の皆さん方と一緒に、本市の魅力発信や地域の活性化を図ってまいりたい。			<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでと同様、せんだい高城温泉よか湯協議会と連携・協力しながら観光地域づくりを行って参りたい。</li> <li>その中で、地域おこし協力隊員もよか湯協議会を受入れ団体として募集中である。</li> <li>今後の活動方針としては、薩摩高城駅前後や駅ホーム等でのマップ配布や、バイパス用の温泉トンネルに情報発信用の看板を設ける等が計画されている。</li> </ul>						
H27	3	西方	地域防災対策強化について(井高踏切の拡幅について)	建設整備課	市を縦断している鉄道の中で、井高踏切の改良は、優先順位も高いところに搭載されており、私どもも十分に認識している。 現在、網津踏切を改修している。網津の場合、改修工事だけでも9千万円程かかっている。西方の踏切については、複線であるので、その2倍程度の費用を予測している。国の補助事業を利用しなければ、市単独事業だけでは難しいので、採択に向けて準備していくこととしている。国道3号から踏切までの間で狭い部分もある。手始めに、新年度に早速交渉させていただき、土地を確保してから、鉄道事業者や国に、市としての姿勢を見せながら、採択に向けて作業を進めていきたい。			国道3号から肥薩おれんじ鉄道までの区間について、地権者等の調査を実施した。						
H27	3	西方	地域防災対策強化について(西方川ガードレールの設置(500m)について)	建設維持課	西方川沿いの市道西方・浦川路線のガードレール設置については、昨年度地元の方から要望もあり、現地も確認している。来年度当初予算に計上することで、議会にも上程する。議会可決後の4月以降、設置はできると考えているので、よろしくお願したい。			H27年度はガードレール=40mを設置済みであり、今後も年次的に整備を図ってまいりたい。				○	○	
H27	他	水引	市道川底・乙須線の整備については、感謝している。国道3号の川底も低く、水没しやすい。そこには水路と小倉川があり、おれんじ鉄道と国道の暗渠が狭いことから、冠水しやすいので、検討をお願いしたい。	建設維持課	—			H27年度に国道3号と市道川底・乙須線の交差点改良に併せ水路断面を拡大し冠水防止対策を図ったところである。下流域の狭隘部については、冠水状況を経過観察しながら必要に応じ関係機関に要望したい。					○	
H27	他	水引	市道川底・乙須線の整備については、感謝している。国道3号の川底も低く、水没しやすい。そこには水路と小倉川があり、おれんじ鉄道と国道の暗渠が狭いことから、冠水しやすいので、検討をお願いしたい。	耕地課	—			建設維持課で、市道川底・乙須線整備の際に水路についても一部断面を大きくし整備を行いました。また、小倉川についても県で堤防の整備を行っているため、経過を観察したい。					○	